

休息の色

あなたは六日間は働き、7日目には休まなければならない。耕作の時も、刈り入れの時にも、休まなければならない。(出エジプト34:21)

秋の紅葉は、いつも私たちの目を大いに楽しませてくれます。私たちの感覚や想像力に喜びをもたらし、いのちと死について数限りないたとえ話を詩人や説教者、預言者に提供してきました。クリスチャンの自然保護団体 (www.arocha.ca) で働いている私の妻ルツは、今週私に大切なことを教えてくれました。神にあって安息する度に、私たちが内に発見する美しさと紅葉には関連性があるということです。以下は、彼女の説明です。

太陽が地球により近づく夏の間、葉は樹木にブドウ糖を供給するため忙しく働きます。太陽の光が水や二酸化炭素をブドウ糖に変える働きをし、ブドウ糖は樹木の成長のために使われます。光合成と呼ばれるこのプロセスは、葉の中に存在する葉緑素で行なわれます。この葉緑素が、葉に緑の色素を与えるものでもあります。このような事は、すでにだれもがご存知でしょう。しかし、葉の緑色を「仕事」を表す色と捉えることは、新しい概念かもしれません。

夏が終わりを告げ、日が短くなると、光合成を継続するのに必要な光や水が不足します。樹木は働くことをやめ、夏の間貯めた栄養素で生活するようになります。稼働のスイッチが切れると、葉緑素は葉から姿を消し、今度は黄色やオレンジ、赤などの色が姿を現します。それらの色はもともとそこに存在していたのですが、夏の活動を表す色である緑色によって覆われていました。今こそ葉は、美しい秋の色彩である「休息の色」を表します。

この現象をあなた自身の変わりゆく人生の季節と関連づけて考えてください。日々の、あるいは週ごと、月ごと、年ごとの仕事と休息のパターンに照らし合わせてみてください。仕事の色を表す「緑色」の季節は、目に美しいものです。私たちの内外で行なわれるすべての生産的活動の生命力を象徴するものです。しかし、毎年秋になると、主は紅葉を通して他の美しい色も私たちの内に宿っていることを思い起こさせてくださいます。それらの色は、表面にある私たちの「仕事の色」のほんの少し下に隠れていることを。それらが現れるためには、私たちは仕事の手を休め、休息の色である黄色やオレンジ、赤が表面に現れるまで待つだけです。それが、あなたの内側にある美しさを見いだすためのいとも簡単な処方箋です。

私たちも自らの美しい休息の色を表しながら、季節や年間を通して安息の季節を楽しむことができますように。それは紅葉のように、大いなる喜びを私たちの周りにいる人々にもたらすでしょう。

質問：

- 1 仕事から離れて安息日を楽しむ時に現れる、あなた自身の「休息の色」はどのようなものですか。休息を取ると、どの御霊の実（ガラテヤ5：22-23にある愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制）が回復されますか。
- 2 忙しい生活を送っていないと、あなたの内にある自由から他の人がどのような益を受けますか。
- 3 内側から美しさが表されるだけでなく、まわりにいる人々をも祝福する生活のリズムを作るために、「休息の季節」はどのような貢献をしますか。

祈り：祈りの中で、神の中で存在すること以外のすべてのことから、今解放されてください。生活の忙しさで頻繁に覆い隠されてしまう、あなたの内にある純真な美しさを思い出すことができるよう、神に求めてください。